

令和4年度
広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部

第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース

小論文問題

実施期日 : 令和3年11月18日（木）
試験時間 : 9時30分～12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて6枚、解答用紙は3枚、下書き用紙は2枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）のほかは置くことができません。

令和4年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題

第一問

次の文章（問題文）はある大学のHPに掲載された「カタカナ語の氾濫問題を立体的に視る」という文章の一部である（前半部を引用）。この問題文を読み、後の問いに答えなさい。
なお、問題文中の常用漢字外の漢字は問題文の後に読みを示す。

著作権保護の観点から、公開していません。

令和4年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題

著作権保護の観点から、公開していません。

堀田隆一「カタカナ語の氾濫問題を立体的に視る」
(ChuoOnline <https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/education/20141016.html>)

漢字の読み：視る（みる）、蠟燭（ろうそく）、擲揄（やゆ）

問1 日本語には大量のカタカナ語が存在しており、問題文にあるようにカタカナ語の氾濫としてしばしば批判される。しかし、批判されながらも大量のカタカナ語が存在するのは、カタカナ語に利点があるためだと考えられる。カタカナ語にはどのような利点があると考えられるか。あなたの考える利点を答えなさい。

問2 下線部に「著作権保護の観点から、公開していません。」と書かれている。

- (1) 筆者は、何と何がどのように「酷似している」と考えているか。「何と何が」を①、「どのように酷似しているか」を②として答えなさい。
- (2) 上の①で答えた二つは「酷似した」部分があると同時に、異なる部分もあると考えられる。明治期の社会情勢・明治期の日本語などを広く考えて、異なると考えられる部分を答えなさい。

第二問

次の文章（問題文）を読んで後の問いに答えなさい。なお、常用漢字外の漢字は問題文の後に読みを示す。

著作権保護の観点から、公開していません。

令和4年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題

著作権保護の観点から、公開していません。

平野啓一郎『本の読み方 スロー・リーディングの実践』（PHP文庫）による
漢字の読み：端折る（はしよる）、委ねる（ゆだねる）

問 この問題文に書かれていることは一面の真理であるが、主張の根拠などに反論の余地があるようにも思える。次のA)、B)のいずれかの立場に立って文章を書きなさい。文字数は400字以上700字以内。なお、問題文ではいわゆるビジネスを念頭において仕事の速さを論じているが、もっと広い範囲に目を向けて自由に論じて良い。

A) 新たな根拠を提示することによって問題文を擁護する。

B) 根拠を示した上で問題文を批判する。

解答用紙「第二問」の横にある□にAかBを明記すること。

第三問

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

令和4年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題

著作権保護の観点から、公開していません。

令和4年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜 (I型)
教育学部
第三類 (言語文化教育系) 日本語教育系コース
小論文問題

著作権保護の観点から、公開していません。

John Lyons (1981) *Language and Linguistics*.
Cambridge University Press を一部改変

- 問1 英語の **language** の持つ二つの意味について、本文ではどのように説明しているか。文法上の区別、他言語との比較、指示対象の違いという三つの観点から分類し、下の表の空欄①～⑤にあてはまる語句を本文中から抜き出して、解答用紙に答えなさい。

	language	
文法上の区別	①	②
他言語 (フランス語) との比較	③	④
指示対象の違い	language in general	⑤

- 問2 筆者はどのような「言語」について、言語という言葉に適用することに疑問の余地があり、厳密な意味では言語とは呼べないと考えているか。具体例を挙げながらその理由を説明しなさい。
- 問3 言語学が科学として明らかにしようとしていることは何であると著者は述べているか説明しなさい。
- 問4 英語の **language** は「ことば」と和訳することもできる。日本語の「言語」と「ことば」の意味や使い方の違いについて観察・分析を行い、本文をふまえて、あなたの考えを論じなさい。